



拝啓

ひいばあちゃん



目次

拝啓ひいばあちゃん	1
拝啓ひいばあちゃん	2
拝啓ひいばあちゃん	3
拝啓ひいばあちゃん	4
拝啓ひいばあちゃん	5
拝啓ひいばあちゃん	6
拝啓ひいばあちゃん	7

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

そちらはどうですか？

こちらは大変ですよ。

あれからいろんなことがありました。

ひいばあちゃんに護られていた幼い頃とは違い、

苦しいこともたくさんありました。

でも、まあ、何とかやっていますよ。

みまもっていてくださいね。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

ひいばあちゃんは、いつも私に優しくかったですね。

いつも私を愛してくれましたね。

私をあれほどまでに愛してくれたのは、ひいばあちゃん、あなただけですよ。

ひいばあちゃんは、本当は悲しかったのですよね。

立派な息子を、三人も亡くして。

本当に悲しかったのですよね。

だから、その分、私を愛してくれたのでしょうか？

ありがとう、ひいばあちゃん。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

こっちは寒いです。

しかも、雨が降っています。

心まで寒くなりそうです。

こんな日には、あなたの優しさが懐かしいです。

ありがとう、ひいばあちゃん。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

あの日、私は間に合いませんでした。

私ที่บ้านに帰着いた時、

あなたはもう、帰らぬ人となっていましたね。

今でも、鮮明に憶えています。

また会いたいですね。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

幼い頃、私は古井戸に落ちました。

もうだめかとおもっていたら、

ばあちゃんと、親戚のおばさんが助けてくれました。

冬だったので、

凍えた体を温めるために、

ひいばあちゃんが、焚き火をして私を温めてくれましたね。

ありがとう、

ひいばあちゃん。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

幼い頃から、

私は、弱虫で泣き虫でしたね。

いじめられて帰ってくると、

いつもあなたが、優しくしてくれましたね。

それが何より嬉しかったのです。

ありがとう。

ひいばあちゃん。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

拝啓

ひいばあちゃん。

私は、幼い頃からわがままで、

欲しいものを何でも買ってもらいました。

おもちゃ屋さんのおもちゃを、買い尽くすくらいに。

そんなに裕福でもないのに、

何でも買ってくれましたね。

そして、あなたの好きな乳飲料を、

いつも私が飲んでしまっていましたね。

本当に、ごめんなさい。

そして、ありがとう。

ひいばあちゃん。

敬具

拝啓ひいばあちゃん

著 者 書籍情報の編集ページから、著者情報を入力してください

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
